



事業報告

事業名	令和元年度第3回屋久島研究講座	事業体系	環境学習事業
期 日	令和元年12月7日（日）13：30～16：30		
場 所	屋久島離島開発総合センター		
対象者	屋久島町民（高校生以上対象）	参加者数	100名（内カ`イト`登録受講証明書発行 名）
<p>（概 要）</p> <p>演 題 「屋久島と口永良部島の災害・防災」</p> <p>講 師 講演要旨</p> <p style="padding-left: 2em;">講師 黒川 潮 （森林総合研究所九州支所 山地防災研究グループ長）</p> <p style="padding-left: 2em;">下司 信夫（産業技術総合研究所 大規模噴火研究グループ長）</p> <p style="padding-left: 2em;">用具 敏郎（口永良部島火山防災連絡事務所 所長）</p> <p>地震、津波、巨大台風、ゲリラ豪雨等々、近年の自然災害は激しさを増しているように思えてなりません。日本一多雨と言われる屋久島と、活火山と共に暮らす口永良部島。屋久島町はタイプの異なる2つの島からなり、両島それぞれに特徴ある自然災害の危険性をはらんでいます。セッション1では、気象、地質、防災の専門家達を講師にお招きし、主に近年噴火を繰り返している口永良部島の地質・噴火史・災害に焦点を当て、気象については屋久島での豪雨メカニズム等について学び、これから私達はどのように自然と向き合い、時に現すその凶暴な一面にどう備えるべきかを考えるきっかけとなった。</p> <p>※ 屋久島町エコツーリズム推進協議会登録ガイド更新条件の対象となっています。</p>			
<p>（講演時の様子）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
資料等	別添のとおり		